

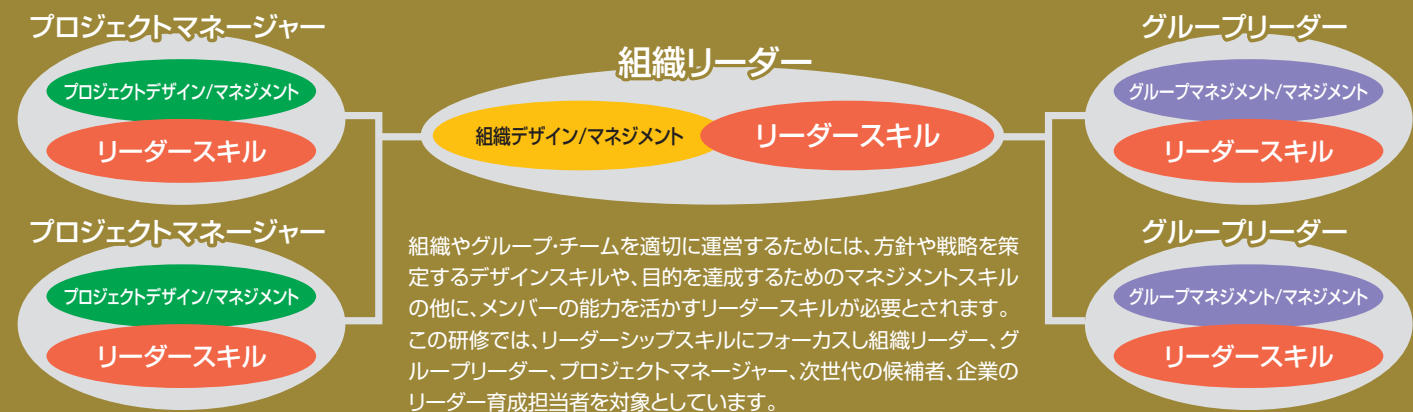
スケジュール

1日目 10.23_火	2日目 10.24_水	(自由出席) 11.15_木	3日目 12.10_月
9:00~		9:00~12:00	成果発表
10:00~	発表	プロジェクト・デザイン 合宿研修	
11:00~12:30	社員を幸せにする経営とは 前野	オブザービング	集団とリーダーシップの科学 萩谷
12:30~13:30	昼食・休憩		昼食・休憩
13:30~15:00	自己アセスメント分析 大塚		組織改革のための人間関係と リーダーシップ 越膳
15:00~15:15	休憩		休憩
15:15~16:45	システム×デザイン思考 白坂・長谷川	中間発表提出 ※提出のみ	自律型組織のリーダーとは 米澤
16:45~17:00	休憩		休憩
17:00~18:30	システム×デザイン思考 白坂・長谷川		まとめ・次のステップへ 大塚
18:30~20:00	夕食・自由時間		18:30~19:30 懇親会
20:00~21:30	システム×デザイン思考 白坂・長谷川		18:30~19:30 終講式

10月23日・24日は合宿研修を想定しています(宿泊料別途 税込み4,320円)。
宿泊不要、前泊、後泊のご要望の方是对应いたしますのでお問い合わせください。

全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大23.5PDU(L:8/S:15.5)の受講証明、上限6ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、最大23.5CDU自己申請することができます。

昨年開始いたしました「組織リーダー養成研修」はおかげ様で好評で、本年度も開講の運びとなりました。本年度は、更にパワーアップし、要望の多かったシステム×デザイン思考のワークショップについても取り入れながら、1泊2日の合宿と自業務適用後の1日、あわせて3日間コースで設定いたしました。また、希望者には、関連コースである「プロジェクト・デザイン合宿研修」の最終日の発表にもオブザーブいただけることとし、イノベーションを生む組織を作り出すために、創造性と論理性がどのように発揮されるか体感していただくプログラムも強化いたしました。



協生館

実践 組織リーダー養成講座

募集要項

期 日：2018年10月23日(火)~24日(水)合宿形式、12月10日(月) 11月15日(木)プロジェクト・デザイン合宿研修参観(自由出席)
時 間：9:00~18:30 (初日は10:00~21:30)
10月23日~24日は合宿研修を想定しています(宿泊料別途 税込み4,320円)。
宿泊不要、前泊・後泊(別途有料)のご要望の方是对应いたしますのでお問い合わせください。

会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館

募集定員：25名

対 象：組織リーダー、グループリーダー、プロジェクトマネージャー、次世代の候補者

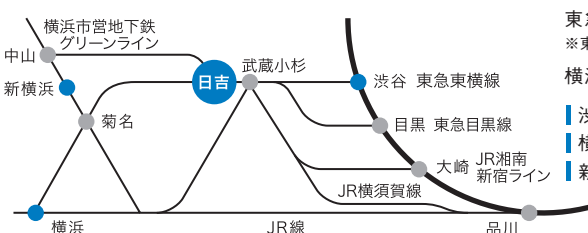
受 講 料：150,000円(税別)
(早割 7月末までの申し込みの場合100,000円)

申込方法：WEBサイトよりお申込ください。



協生館宿泊施設

交通アクセス



東急東横線、東急目黒線
※東急東横線の特急は日吉駅に停まりません。
横浜市営地下鉄グリーンライン
JR線
JR湘南新宿ライン
JR横須賀線

日吉駅直結

お問合せ先

慶應義塾大学
日吉学生部 SDM担当
〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp

<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

実践 組織リーダー養成講座

— イノベーションを生む自律型・顧客志向の組織をつくる —

2018

自分と組織を変える

10.23_火

10.24_水

3日間

..... 12.10_月

【後援団体】



一般社団法人 PMI日本支部



一般社団法人 IIBA日本支部



特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター



昨今、経営環境の変化は、組織リーダーとしてのあり方を問い直すことを迫っています。競争激化する環境の中で、メンバー一人ひとりが自分自身で自律的にアイデア創出し、イノベーションを担っていく人材として高いポテンシャルを発揮できるような組織づくりをいかにスピーディに行うかが多くの企業の抱える共通の課題となっています。同時にリーダー一人ひとりには多様な特性を持っています。戦略的に人材を活かすためには、これまで以上に個別に人材をマネジメントすることの重要性が増しています。

組織のメンバーが自ら考えチームの一員として創造性を発揮するためには、リーダーとしてどのようなスキルが必要とされるのでしょうか？

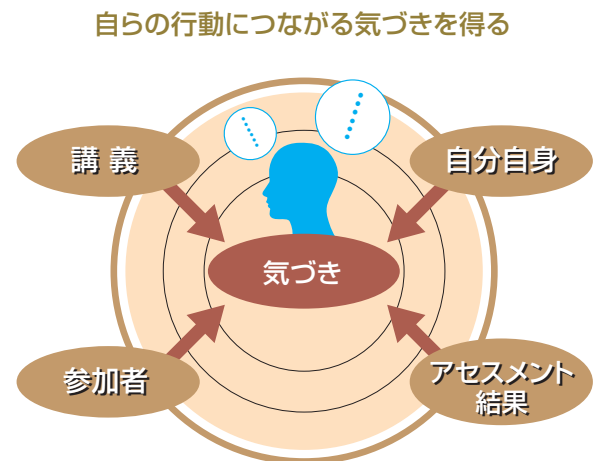
今回のコースでは、Hogan Assessment*のツールを利用し、自己のビジネスリーダーのパフォーマンスに影響を与える「特性」を診断し、更に、組織をリーダーとしてどのようにふるまうべきか具体的な行動変容のためのアクションプランを立案します。

アクションプラン策定にあたっては、システム×デザイン思考によるイノベーションや組織のパフォーマンス向上の研究・教育を行ってきた慶應義塾大学大学院の教員陣と、実務専門家からの講義とアドバイスが役に立つことでしょう。

また、一定期間を挟んだコース設定で、実施したアクションプランがどのような効果があったか、改善すべき点はどのような点であるのか、プランのフィードバックをレビューできるコースとなっています。

多様な業界から集まった受講生の中で、自己の組織の特徴を再認識し、自律性と創造性の高いチームを率いるリーダースキルを実践的に身に着ける機会としてご活用いただければ幸いです。

*Hogan Assessmentは、ビジネスリーダーのパフォーマンスに影響を与える特性の診断において25年以上の歴史を持ち、フォーチュン100企業の6割近くが採用している診断ツールです。業種、職種、国籍を問わず、人材の登用、リーダーの育成、タレントマネジメントに有効です。日本国内では富士ゼロックス総合教育研究所が提供しています。



受講者の声



全日本空輸株式会社
仁木 淳之

またイノベーションを起こす組織とは何かということ、そもそもリーダーとはどうあるべきか、これからの時代に目指すべき組織の姿についても様々な知見を得られる研修となっており、非常に有意義な2日間となりました。

中堅社員としてプロジェクトマネージャーにアサインされ、複数のチームを統括しながらプロジェクトを牽引する立場となり、プロジェクトを完遂する為にどのように組織を牽引するべきか考えておりました。そのときに、以前プロジェクト・デザイン合宿研修に参加させていただいた慶應SDM主催で組織リーダー養成講座が開催されることを知り参加いたしました。研修の事前課題として実施されるホーガンアセスメントにより自身の行動・思考・価値観を客観的データとして知ることができ、このデータだけでも十分価値があるものだと思います。



伊藤忠テクノソリューションズ
鳥越 貴之

普段はお客さまが必要とするシステム開発に関わっていますが、最近は業務効率と企業成長の両面を支えるシステム化のご相談が増えてきています。悩みながら試行錯誤しながら取り組んでいる時期でしたのでシステムデザイン・マネジメントの考え方や手法を学ぶことができたのは自身にとって貴重な経験となりました。またテーマごとに発散と収束を繰り返して練り上げていくグループワークも色んな方々から貴重なご意見を頂ける機会となり大変刺激を受けました。

講師プロフィール



●セミナー
コーディネーター
大塚 有希子
Yukiko Otsuka

株式会社富士ゼロックス総合教育研究所 業務委託講師。博士(システムデザイン・マネジメント学) PMP、CBAP、ITCインストラクター、1級FP 慶應義塾大学大学院SDM研究科 非常勤講師 経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、表彰など。金融機関人事部門、戦略企画部門を経て、現在は、戦略・マネジメントに関するコンサルティング、制度設計および人材育成を行っている。

SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」のリーダー、PMP®資格受験対策講座も担当。本研修において、セミナーコーディネーターを務める。



●監修
高野 研一
Kenichi Takano

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 博士(工学) 電力中央研究所 社会経済研究所、マンチェスター大学 客員研究フェロー、早稲田大学非常勤講師を経て現職。専門分野:組織マネジメント研究組織の風土・文化の診断手法に関する研究を始め、組織のマネジメントの新しい方向性や改革に関する研究を行っている。イノベティブな産業人材の育成に関する内閣府の研究会の座長を務めるなど、創造性開発に関する活動などを継続している。最近ではプロジェクトの成功要因の研究や我が国の起業の促進やコミットメント、モチベーション向上に係る研究を推進している。



前野 隆司
Takashi Maeno

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 委員長・教授 博士(工学) キヤノン(株)、カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授等を経て現職。

専門分野:人間システムデザイン(社会・コミュニティ、教育、地域活性化、農業、NPO、ヒューマンインタフェース、認知科学・哲学など)。著書:「思考脳力のつくり方」(角川新書)「幸せのメカニズム」(講談社)など多数。



白坂 成功
Seiko Shirasaka

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP 三菱電機株式会社では「こうのとりのり」(HTV: H-II Transfer Vehicle)の開発でアビオニクスアーキテクチャ設計、システム安全設計をはじめ、全体インテグレーションを行う。フライトコントローラとして運用終了まで実施。「こうのとりのり」開発では多くの賞を受賞。2011年度より現職。専門分野は、システムズエンジニアリング、システム×デザイン思考。2015年12月より内閣府革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)プログラムマネージャー。



米澤 創一
Soichi Yonezawa

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特別招聘教授 元アクセンチュア株式会社マネジシングディレクター 2008年より非常勤講師として慶應SDMの教育に参画。2013年からプロジェクト・デザイン合宿研修で「本質把握」をテーマとした講義を担当している。約27年のアクセンチュア社におけるキャリアでは、プロジェクトマネジメント、ソフトウェア工学の専門家として大規模・高難度プロジェクトのPM、責任者を歴任。マネジシングディレクターとしては、日本における品質管理責任者、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPグループ統括、教育責任者等の役割を歴任。2017年12月に「プロジェクトマネジメントの生活のスヌメ」(日経BP社)を上梓。



越膳 哲哉
Tetsuya Echizen

株式会社Jeco 専務取締役 前職の医療機器メーカー時代、ISO認証取得プロジェクトに従事し、社内における品質保証体系の整備および運用・風土改革のキャリアを持つ。現在は専務取締役としてクライアント企業の経営変革支援を担当できるコンサルタント(営業・インストラクター)の統括・全社組織運営の役割を行う立場にある。組織の人的側面に焦点を当て、デザインされた組織が目的遂行に向かうには、どのような人材が必要なのかを追求しY理論の人間観に基づくマネジメント力の強化をライフワークとしている。2012年より、SDM研究科において、組織内コミュニケーションスキル向上、組織内人間関係構築スキルの講義に携わる。近年は組織全体の変革に向けて、組織文化の革新に精力を注いでいる。



萩谷 利道
Toshimichi Hagiya

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科高野研究室 株式会社リコーにて長年光ディスクドライブ用ピックアップ研究開発設計に従事後、人事教育部門にて技術系社員の研修企画や新人研修講師や組織職向け研修企画・講師、組織活性化の施策を担当。定年退職後、組織文化論、吉田道雄博士に師事。人と人をつなげる人材活性化のワークショップや新規事業創造のためのワークショップのファシリテーターとして活動中。



長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa

株式会社リコー 人事本部 人材開発部 シニアスペシャリスト 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科附属 デザイン・マネジメント研究所 白坂研究室 研究員 顧客向けプログラマー、システムエンジニアを経て、株式会社リコーの基幹システム要求開発を担当。同時に慶應SDM研究科システムズエンジニアリング学を履修。現在も白坂研究室研究員として籍を置き、人材育成と事業開発を同時に行うメソッドを開発。技術者、設計者、企画者、マーケッターなどあらゆる立場から事業を創出できる方法論として展開している。株式会社リコーでは研究内容を活かし、各事業部で経営戦略に基づく事業開発型の人材育成プログラムや、技術リーダー育成プログラムなどとして展開している。